

JENESYS2018 ASEAN 招へいプログラム第 20 陣の記録 若手外交官交流、若手行政官交流 対象国：インドネシア

1. プログラム概要

対日理解促進交流プログラム「JENESYS2018」の一環として、インドネシアから若手外交官 10 名、若手行政官 5 名が 2019 年 1 月 29 日～2 月 5 日の日程で来日し、「若手外交官交流」、「若手行政官交流」をテーマとしたプログラムに参加しました。

一行は、東京都、山口県を訪問し、地方自治体への表敬訪問、日本理解講義の聴講、テーマ関連の視察を行いました。また、山口大学訪問時には、インドネシア人留学生との意見交換や、文化視察を通じて、日本の魅力に直接触れる機会を持ちました。両グループは、こうした交流を通して日本についての理解を深め、各々の関心事項や体験、日本の魅力について SNS を通じて対外発信を行いました。帰国前の報告会では、訪日経験を活かした帰国後のアクション・プラン（活動計画）について発表しました。

【参加国・人数】 インドネシア 15 名

【訪問地】 東京都、山口県

2. 日程

	若手外交官	若手行政官
1 月 29 日（火）	来日、【オリエンテーション】	
	【視察】東京都庁	【テーマ関連の視察】 国会議事堂（衆議院）
1 月 30 日（水）	【テーマ関連の視察】インド ネシア共和国大使館、国会議 事堂（衆議院） 【文化視察】皇居	【テーマ関連講義の聴講】人 事院、東京都総務局総合防災 部防災管理課 【視察】東京都庁
1 月 31 日（木）	東京都より山口県へ移動 【表敬訪問】山口県庁、【文化視察】瑠璃光寺	
2 月 1 日（金）	【テーマ関連の視察】 萩博物館、松陰神社、萩明倫 学舎	【地域産業・企業視察】 カンロ株式会社 ひかり工場 【文化視察】伊藤公資料館 【表敬訪問】光市長 【テーマ関連の視察】 ふるさと郷土館
2 月 2 日（土）	【関係者との意見交換会】 山口県国際交流協会 岡孝則 事務局長 【日本理解講義の聴講】	

	講師：山口大学副学長補佐 富本 幾文 教授 【地域住民・関係者との交流会】 平川風の会（留学生支援団体）（餅つき体験） 【学校交流】山口大学（インドネシア人留学生）	
2月3日（日）	山口県から東京都へ移動 【ワークショップ（報告会準備）】	
2月4日（月）	【文化視察】東京スカイツリー、浅草寺、お台場 【成果報告会】	
	【関係者との意見交換】外務省南部アジア部南東アジア第二課 宮本 新吾 課長	
2月5日（火）	帰国	

3. プログラム記録写真

	
1月29日【視察】東京都庁	1月29日【テーマ関連の視察】 国会議事堂（衆議院）
	
1月30日【テーマ関連の視察】インドネシア共和国大使館	1月30日【テーマ関連講義の聴講】 人事院

	
1月31日【表敬訪問】山口県庁	2月1日【文化視察】伊藤公資料館
	
2月1日【表敬訪問】光市長	2月2日【関係者との意見交換会】 山口県国際交流協会
	
2月2日【日本理解講義の聴講】	2月2日【地域住民・関係者との交流会】 平川風の会（餅つき）
	
2月4日【関係者との意見交換】外務省南部アジア部南東アジア第二課 宮本 新吾 課長	2月4日【成果報告会】

4. 参加者の感想（抜粋）

◆ 若手外交官

私は、小さいころから、歴史、文化、アニメ等、日本に関係することがとても好きでした。そのため、日本のことはたくさん知っていると思っていました。しかし、私は山口県が、日本が今日の日本になるまでの道筋に重要な役割を果たしていることを、今回の訪問で学びました。また、観光客として日本を訪れた場合、東京、大阪、京都以外に行くことを考えることはなかったと思います。また吉田松陰と長州五傑の生涯についての話、これらの人々が日本にとって本当に大きな変革をもたらしたことは私にとってとても大変刺激になりました。一人の外交官として、インドネシアにとってより確かな、そして最善の仕事をしようと思います。吉田松陰や長州五傑のように人々にいつも思い出されるような働きをしたいと思います。

◆ 若手外交官

一番印象に残ったのは萩への訪問でした。明治維新は吉田松陰という人から始まり、発展のための大いなる情熱を持った松陰の意志を継ぐ若い世代を生み出しました。誰かに頼るのではなく、能力を高める努力をし、誠意を尽くし、リーダーに付き従ったのです。このことは山口を訪問して初めて知ったことでした。また、国会見学についても、忘れがたい経験になりました。私たちは衆議院の本会議を見学でき、そして安倍首相が2019年の予算案などを説明するところを見ることができました。行政システムの違いを知ることはとても重要です。

◆ 若手外交官

吉田先生と長州五傑の話には刺激を受けました。長州五傑は、政府にも市民にとっても、日本という国に大いに役に立つ大きなインパクトを与えました。政府にも市民にとっても。私は吉田先生の教えた価値観を学びとし、長州五傑のように自分の職場だけではなく国にとってもよい変化を起こすことができるようになりたいと思います。

◆ 若手行政官

光市の4名の職員による①総合計画、②母子保健、③ごみ処理、④防災の取組は非常に刺激的でした。例えばごみ処理についてはごみの種類ごとに異なる袋を使うことや、母子保健のブックレット、防災課では監視カメラで遠隔から災害の様子をモニタリングできる技術など、ぜひともインドネシアでも取り入れたいと思いました。

◆ 若手行政官

光市の「ふるさと郷土館」を訪問した時、私たちを迎えてくれたのは郷土館の3名の職員でした。どの方も高齢でしたが、私たちの訪問を心待ちにしてくださり、郷土館の展示物について熱心に説明してくださいました。私は高齢にもかかわらず、仕事に対して誠実で、すべての展示物を説明しようとしてくださっている姿に感動しました。

◆ 若手行政官

山口県でも光市でも、私たちの訪問を歓迎してくださったことが嬉しかったです。説明してくださった施策はいずれも参考になるものでした。人々の温かさ、親切さを感じるとともに、街は清潔で安全安心が確保されていることが強く印象に残りました。

5. 参加者の対外発信

	
(若手外交官) 山口県による温かい歓迎を受け、明治維新において重要なこの県でこれからの2日たくさん学びたいという決意を強くしました。	(若手外交官) インドネシアは、日本の封建時代(1800年代半ば)に、その構想で革命的なアイディアを生み出した萩出身の重要な人物、吉田松陰の教えから、多くを学びました。
	
(若手行政官) 皇居の視察後訪問した国会議事堂(衆議院)では、説明を受け、本会議場へ案内されました。	(若手行政官) 日本の料理、手をつけるなんてもったいないくらいきれい、見るだけでもいいですね。

6. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表

ACTION PLAN • Untuk itu, dipandang penting untuk melaksanakan awareness campaigns • Sebagai upaya berkelanjutan untuk mendorong pengenalan akan Yamaguchi di Jepang. ➢ Terutama menarget Segmen masyarakat muda (milenial) (kelahiran 1970 sampai 1990-an) ➢ Milenials menggunakan teknologi secara rutin sebagai sarana komunikasi. 	Action Plan Besar <u>Video Awareness Campaign melalui Youtube</u> Bulan Pertama Membuat akun JENESYS batch 20th di Youtube Penyusunan dan pembuatan video serta pengunggahan video di akun Youtube JENESYS batch 20th Indonesia Bulan Kedua dan Ketiga Repost video melalui media sosial masing-masing setiap minggu ➢ Waktu primetime (Hari Jumat, 14.00)	Action Plan Personal • Menulis 1-2 artikel dan mempublikasikan di Majalah Kemlu ➢ Majalah Masyarakat ASEAN edisi bulan April 2019, yang akan diberikan kepada berbagai pemangku kepentingan di Indonesia. • Menulis dan mengunggah informasi di media sosial dan blog pribadi. • Membuat infografis dan flyer lalu mengunggah di media sosial.
---	---	---

【若手外交官】ビデオ動画を作成し、Youtube に同ビデオを掲載し、「認知度キャンペーン」を実施します。

ミレニアル世代（1970 年から 1990 年代生まれ）を対象に、日本の山口をもっと知ってもらい継続した取り組みとして実施します。

- 1～2 つの記事を外務省の機関誌「ASEAN の人々」に寄稿します。
- 個人のブログや SNS 等にプログラム経験の記事を書き、情報をアップします。
- 在インドネシア日本国大使館が山口の観光促進イベントを実施する際は、サポートします。
- プログラム中に知り合った関係者とのネットワークを構築します。



【若手行政官】コミュニティや地方政府にとって、山口県訪問での学びはベンチマークとして重要と考えるところ、今回の訪日で得た知見を活かし所属機関の幹部、関係者、家族、友人を対象に、「報告書の作成」、「コミュニティでの共有」、「SNS を活用した発信」を行います。